

第26回市民まつり 「習志野きらっと2019」

今年はNIAブースの出店もあれば
NIAチームでのサンバパレード参加もあります！
一緒にきらっとサンバを踊りませんか？

日時：7月14日（日）午前9時から午後9時まで

会場：習志野市役所敷地内等

サンパチームの参加申し込みやお問い合わせは事務局へ



詳しい記事がNIAホームページからご覧になれます
発行 習志野市国際交流協会
千葉県習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼6F 〒275-0016
Tel&Fax 047-452-2650
<http://www.nia08.com/>
nia@jcom.zaq.ne.jp

津田沼盆踊り大会で 日本語教室部会が親睦会

外国人学習者と日本語ボランティアのみなさん！
今年もゆかたを着て盆踊りに参加し、市民のみなさんと
交流しましょう。家族・友人も参加できます。
ゆかたの着付けも指導します。

日時：8月24日（土）午後4時から9時まで

会場：京成津田沼駅前広場

ゆかたの貸与に協力をお願いしています

参加お問い合わせは事務局へ

SDGs勉強会が開かれます

『SDGs』から学ぼう！会員それぞれが主体的なボランティア活動を目指せる協会づくりへ！をテーマに、国際交流部会
主催の会員勉強会です。興味のある方どなたでもご参加ください。

日時：9月14日（土）午後2時から5時まで

場所：サンロード6階大会議室

講師：石井雅章氏（神田外語大学 言語メディア教育研究センター長・准教授）専門は環境社会学。市民や自治体、企
業向けに様々なSDGsワークショップを開発・実践し、SDGsの「自分ごと化」のための活動に取り組んでいる。

お問合せ・申込みは事務局へ

NI-Youthが国際フェスタCHIBAに参加しました 認知度の向上と新しいつながりが実現

原 リー 海渡 (NI-Youth)

5月19日(日)、神田外語大学にて、「国際フェスタCHIBA」が開催され、NI-Youth
はブースを出展して参加しました。目的は、千葉県内における国際団体との連携
と、NI-Youthの活動の認知度向上のためです。

この日は、1つの教室を柏市国際交流協会とシェアをしてブース出展をしまし
た。私たちはポスターをブースの後ろに貼り、訪れた家族連れに子供達とは折り
紙をして大人には説明をしました。海外から来た人もいて、その場合、私が英語
で対応をしてNI-Youthの活動を紹介しました。来場者は、主にタスカルーサ市と
の姉妹都市交流事業について興味を持ってきているようでした。

屋外には多くの国際団体がブースを出展していました。屋外のイベントは楽し
かったです。たくさんのテントがあり、手作りクッキーや、ホットドック、コー
ヒーなど、海外の食べ物も売っていました。日本ではあまり見かけない場面
のように思いますが、多くの文化と一緒に混じり合っていることにとても感激しまし
た。みんなとても楽しんでいるように見えました。

現在NI-Youthはメンバー23名と小さい組織ですが、学生中心のグループとして
は、今回のように認知度の向上とともに新しいつながりができることが、グルー
プの成長につながると思います。



多文化共生やパートナーシップをモットーに 2019年度、国際交流部会の新たな試み

原 リー あんず（国際交流部会長）

国際交流部会は、今年度からNI-Youthが加わり、これまでの外国人支援部会から英語チャットと中国語サークル「梅花会」の引き継ぎもあり、部会の活動がより活性化します。

まず、多文化共生やパートナーシップを部会活動のモットーに掲げ、各部会員それぞれがより主体的に楽しく活動できる環境づくりに努めます。具体的な活動としては、①地域交流の場での姉妹

都市事業のPRと2020年の青少年派遣受入に向けた準備、②ホストファミリー通年募集のための勉強会と懇親会の実施、③次世代新会員獲得のための学生やファミリー向けサポート交流イベントの開催、④異文化交流イベントとして国際交流サロンを開催、⑤外国人対象の災害時支援に向けたネットワーク作り、などを目指します。

また、外部講師を招く勉強会を通して、活動に関わる部会員それぞれの気づきと「自分ごと」化を目指し、世代を超えた柔軟なアイデアを共有しながら絆作りに取り組みます。

今後さらに市民の多様化が予想される習志野市で、わが街、わが故郷で暮らすみんなが共に考えながら、世代を超え、国籍を超えた共生社会を築いていく、そのためのきっかけとなるような活動を目指して、2019年度もより多くの有志の皆さんと繋がりを作りたいと願っています。

国際交流部会は毎月第一月曜日、17時よりNIA会議室で定例会議を行っています。部会活動に興味のある方はいつでもご参加ください。

またこのたび、より多くの会員の皆さんに活動への参加を呼びかけるため、情報の共有を目的に、国際交流部会掲示板公式ラインアカウントを立ち上げました。ぜひふるってご登録いただき、一緒に協会の活動を盛り上げていきましょう！



地域交流を推める試み、2月のナショナルティーデー

新年度NI-Youthの抱負 楽しさ・やりがい・成長を求めて

金井 勇樹（NI-Youth代表）

NI-Youthは習志野市国際交流協会の青年組織で、大学生・高校生が集まって活動しています。

私たちは昨年度、それまでの活動を見つめなおし、習志野市でどう活動していくべきか、新メンバーを増やすためにはどうすればいいか、などを話し合いました。また、他のボランティア団体と活動することでNI-Youthの認知度をあげることに力を入れました。今年度は認知度も上がりメンバーも増えてきたので、新事業の計画や他団体との活動に加え、さらに活動を増やしていく予定です。

今年度の目標の1つとして「NI-Youthのメンバーが成長する」ということがあります。日本に來ている留学生と交流することと同時に、留学生に母国のゲームを英語で説明してもらいながら遊ぶなど、英語力アップを目的としたイベントを月2回程行う予定です。また今年の夏に、NI-Youth代表メンバーが習志野市の姉妹都市であるアメリカのタスカルーサ市に行く予定です。その際、NI-Youthとタスカルーサ市でお互いをもっと知るための活動や、持続的な交流について話し合ってきます。

もう1つの目標として、NI-Youthと姉妹都市交流活動について市民の方たちに知ってもらうとともに、子供たちに姉妹都市交流や国際交流に興味を持ってもらうということがあります。市民まつりなどに積極的に参加して、そこでタスカルーサ市に行ったことのある派遣生の体験談や、今年の夏にタスカルーサ市に行ってきたことの報告を市民の方たちにしたいと考えています。

現在、NI-Youthの人数も増えてきましたが、さらに興味を持ってもらえるような活動を行って、入りたいと思う学生が増えるようにしていこうと思います。今年度はNI-Youthが主催の活動も増やし、それが、メンバーが楽しめて、やりがいがあると感じられるような活動となるように頑張っていきます。



派遣高校生のための事前研修を担当。2018年6月

タスカルーサ市国際姉妹都市協会主催 2019アートコンテスト入選作品

習志野市国際交流協会は1998年から参加。毎年テーマが決められていて、応募年齢は13歳から18歳まで。入賞者には主催者から賞状が授与されます。
テーマ：地球市民、困難を乗り越える力を持つ社会 Global Citizens : Resilient Communities



◀《高等学校の部》

1位 田辺 真彩 習志野高等学校
祈りで伝える「想い」 Prayers for the Sustainable World

▲《中学校の部》

佳作 後藤田 理奈 東邦大学附属東邦中学校
みんなの方舟 Everyone's ark

アラバマ大学主催

2019タスカルーサ市桜まつり俳句コンテスト入賞作品

毎年桜の咲く3月に開催され、習志野市国際交流協会は1992年から参加。以後毎年、習志野市教育委員会の協力で多くの作品を送っています。
テーマ：心に描く Imagine

《小学校低学年の部》

- 1位 三巻 真穂 大久保小学校
ゆきだるま 手と足出たら そりすべり
2位 中村 萌 谷津小学校
はつ日の出 くらいくもまで かがやいた
3位 磯前 心彩 鷺沼小学校
風りんが あついあついと さけびだす

《小学校高学年の部》

- 1位 古賀 斗南 津田沼小学校
桜まう この風はどこ いくだろう
2位 岩崎 優莉 谷津小学校
雨やめば 向こうににじの 橋できた
3位 織田 楓姫 谷津小学校
初夢や 白衣の私 十年後

《中学校・高等学校の部》

- 1位 坂入 美圭 第七中学校
蝉は亡き 時は私を 置いてゆく
2位 久保園 達 第七中学校
京若葉 池の鏡に 金閣寺
3位 岩田 百合香 第七中学校
水無月の 池に浮かんだ 金閣寺

《成人の部》

- 1位 福原 政子
病室の 手鏡あわせ 春探す
2位 日向 絵留
花ふぶき 共に舞いたし 車椅子
3位 田中 文子
冬の芽に 子らを想うと 光さす

◆参加者：小学校低学年の部1,332名、小学校高学年の部2,242名、中高生の部121名、成人の部7名

外国人と共に防災を学ぶ 地域の防災セミナーに参加しました

野中 泰子 (国際交流部会)

5月12日(日)、「外国人にもわかりやすい地域住民のための防災セミナー」が公益社団法人習志野青年会議所の主催で開催され、国際交流部会がNI-Youthと共に協力しました。セミナーは、
①講演：日本の地震の特徴、地震発生時の対応、災害説明
②防災グッズ案内と非常食試食：家庭で利用できる最新グッズの案内、お湯や水で作れるレトルト食品の試食
③実演：家庭にあるレジ袋を使って三角巾・おむつ・簡易トイレを作る
④地震体験：起震車に乗り実際に起きた地震の揺れを体験
の4種類のブースで構成されました。

英語、中国語、ベトナム語、日本語を母国語とする参加者は、4つのグループに分かれて各ブースを回りました。在住外国人に対し安全で安心な生活を支援する活動を推進する国際交流部会からは、部会員とNI-Youthの大学生や高校生のボランティアが受付、各ブースのサポート、通訳を担当しました。ボランティアと参加者合わせて当日は50名のイベントとなりました。

セミナーの最後の成果発表では、外国人の参加者からは「日本の地震を含む災害について勉強ができ、今後の生活に生かせる」日本人からは「最新の情報で学ぶことが多かった」などの感想がありま

した。今後、市内在住外国人の増加が予想される中で住民同士がいかに助け合えるかということでは、「災害が起こる前に、地域で十分コミュニケーションを取って防災環境を整えて行くことが大切だ」との話がありました。

今回私達ボランティアは参加者の方と共に体験しながら、日本が自然災害大国として日々防災対策を進化させていることを学ぶことができました。私は通訳として外国人参加者の方が防災への理解を深めていくことに喜びを感じました。同時に、もっと多くの方にこのような知識を広める活動が必要であると改めて強く思いました。

国際交流部会の国際交流サロンの活動などを通じ、国籍や人種を超えて地域で助け合えるネットワークづくりのお手伝いを目指していきたいと思っています。



多くの参加者が初めての起震車を体験

2019年度 日本語ボランティア養成講座 開講のお知らせ

在住外国人の方々への日本語学習支援と、関連各行事の活動に協力いただける、日本語ボランティアの養成講座受講生を募集します。

日時 8月29日～12月12日、毎週木曜日、午前9時30分～午後12時30分(3時間) 全16回
会場 菊田公民館(9回) サンロード津田沼(7回)
対象 受講後、当協会に入会いただき、日本語指導と関連各行事に協力できる方
講師 吉田聖子先生(地域人材育成コーディネーター)
定員 20名 応募者が定員に満たないときは開講しない場合があります。
受講料 12,000円(別途テキスト代5,400円)
申込み 受講申込書を事務局に持参、またはファックス。
申込書は、当協会のホームページからダウンロード、または事務局にあります。
締切 7月20日(土) [必着]
選考基準 応募者が定員を超えた場合には、受講申込書で書類選考いたします。
選考決定日 7月27日(土) 往復はがきで7月30日までに投函します。
問合せ NIA事務局 Tel/Fax:047-452-2650、Eメール: nia@jcom.zaq.ne.jp

習志野市国際交流協会のTシャツができました

いろいろなイベントに参加する際にこれを着て、連帯感を高め、協会をアピールしましょう。

事務局にあるカタログから色を選んでご注文ください。

価格: コットン1,000円、ドライ1,200円(いずれも税込み)

サイズ: S,M,L,LL(男女兼用)

色: コットンは全35色、ドライは全17色よりお選びください。

(ロゴは黒、または白のどちらかになります)



総会が開催されました

2019年度習志野市国際交流協会総会が、5月19日(日)午前10時よりサンロード津田沼6階大会議室で開かれました。

前年度事業報告と決算、新年度事業計画と予算、会則の一部改正、役員の選任が議案通り承認されました。出席者74名。

終了後、懇親会「会員のつどい」が開かれ、親睦を深めました。



広報
から

◆メールマガジンに読者登録を

スクウェアの電子版「メール・スクウェア」を毎月1回、配信しています。無料です。
配信停止も自由です。配信をご希望の方はPCメールアドレスniasquare@jcom.zaq.ne.jpまで。

◆原稿をお寄せください

イベントや活動の報告、雑感、国際交流の体験など。投稿は事務局またはniasquare@jcom.zaq.ne.jpへ。

◆スクウェア編集部員を募集しています

一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。